

事務事業事後評価シート[令和1年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	生活環境部環境政策課		■担当係	環境保全係
■評価事業名称	環境保全専門委員設置事業			
■事業開始年度				
■評価事業コード	030200 - 103	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	04 美しい環境と心を守り育てるまちづくり		
	■基本施策	01 地球環境保全の推進		
	■施策	02 環境監視体制の強化と公害の防止		
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)	■政策・業務区分	政策	
■法令の根拠区分	法令に定めはあるが任意の自治事務			
■法令等の名称	地方自治法第174条、北上市環境保全専門委員設置規則			
■関連計画の名称	北上市環境基本計画			
■事業の目的と概要	地域環境の保全及び地球環境の改善。誘致企業等との環境保全協定の締結の際、大学教授等の専門的知識を有する方から技術的な意見を聴くための顧問官的な組織。			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	令和1年度事業計画	令和1年度事業量実績
01	環境保全専門委員設置	市民、事業所	環境保全専門委員(新潟薬科大学名誉教授、岩手大学名誉教授、元県立岩手大学教授)計3名。専門委員会議を年1回開催予定。	環境保全専門委員(新潟薬科大学名誉教授、岩手大学名誉教授、元県立岩手大学教授)計3名。・専門委員会議を年1回開催。①「北上市役所地球環境にやさしい行動計画」の内部監査について②北部学校給食センターの現地視察③その他環境保全全般について助言(提言)をいただいた。

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度	備考
直接事業費	403	338	366	368	
人件費	1,727	1,068	538	457	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	2,130	1,406	904	825	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	28年度	29年度	30年度	1年度	指標の説明
01	北上市環境保全専門委員会議の開催	年2回開催	年1回開催	年1回開催	年1回開催	環境保全専門委員3名が一堂に会し、それぞれの分野から環境課が抱える課題に対し、指導助言をいただく会議を年1回以上開催する。

事務事業事後評価シート[令和1年度事業]

03	企業等による環境汚染事故 ゼロ	事故発生ゼロ	事故発生ゼロ	事故発生ゼロ	事故発生ゼロ	市民生活へ影響を及ぼす おそれのある環境汚染事故 の発生件数
----	--------------------	--------	--------	--------	--------	--------------------------------------

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

年1回以上の会議を開催することにより、環境分野で抱える多様な課題に対し、委員から適切な指導・助言や提言をいただいている。

問題点・課題等

委員の先生方が多忙であるため、全員が一堂に会する会議の日程調整が難しい。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

3. 事業廃止の影響・貢献度

- 事業の廃止により重大な問題が発生する
- 事業の廃止により何らかの問題が発生する
- 事業の廃止による問題は想定されない

4. 市民生活・企業活動への貢献度

- 市民生活・企業活動の維持に不可欠
- 市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している
- 市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い

5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

- 1. で選択した人の大多数(70%程度)
- 1. で選択した人の半分程度(50%程度)
- 1. で選択した人の少数(30%程度)

6. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

8. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

9. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

10. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

11. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2,4の補足説明含む)

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了